



水野光二市長(中央)と協定書を交わした
各金融機関の関係者＝瑞浪市役所

地方創生へ連携

瑞浪市 4金融機関と協定

瑞浪市は21日、市内一定を結んだ。県内の市に店舗を持つ十六銀行、大垣共立銀行、東濃信用金庫、陶都信用農協同組合と地方創生に関する包括連携協

今年10月に市が策定

した「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の実効性を高めるため、幅広い分野で連携・協力し人口抑制を図る。具体的には移住定住の情報発信や相談、企業誘致や創業の支援、農畜産業の6次産業化支援などが考えられている。

締結式には、水野光二市長をはじめ各金融機関の関係者が参加。

協定書を交わした後、水野市長は「地域活力創出には今後も支援が不可欠」、各金融機関の関係者が「幸せ実感都市実現へ地域の金融機関が一体となって取り組みたい」とあいさつした。

(松尾法尋)